

2 月 度 ^{例会} 個人 山 行 報 告 書		報告者	中尾	参加 メンバー	小白山 CL:亀山、SL:吉田、小田、方田、中尾 野伏岳 CL:金子、町田、神戸 毘沙門 CL:津田、SL:天野、竹内、油井、塚本、青山、福井 スキー 浜島、佐溝
		報告日	3/12		
山 域	岐阜県石徹白	山行日	2014年 2月 7日 (金)		
山 名	小白山		～2014年 2月 9日 (日)		
山行目的	雪上技術向上／親睦親交		コースタイム (天候：天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者



2/8(土) 小白山 Pt	天気: 雪
6:40 民宿おしたに発	10:00 1200m 付近
7:20 中居神社発	11:10 北峰 1600m
8:10 950m 付近	→アイゼン装着
9:00 杉山分岐 1150m	12:10 南峰 1609m
	12:40 北峰
	13:45 1200m 付近
	→アイゼン脱
	15:05 中居神社着

〈山行報告〉『2/8は関東地方では記録的大雪になる、不用意に外に出ないでください。』という前日の夕方のニュースを思い出しながら、個人的に初めての雪山ということもあり、不安と期待でいっぱいだった。

前日から降り続いた雪は 10~20 cm程度。誰も歩いていない雪の中を自分たちの足跡を一步一步踏みしめながら歩いていくと非常に楽しい。途中からトップを歩かせてもらい、その楽しさにとりつかれたのか、北峰ピークまでラッセルさせてもらった。山頂付近は突風と吹雪と空の白さで視界を奪われる怖さは何とも夏では経験し得なかつただろう。北峰からはアイゼンを装着し、吹雪の中を進む。雪庇をかわしながら雪の落とし穴に何度も足を取られ、非常に歩きにくい。途中、3mほどクラックし雪崩れた箇所を歩くときはさすがにビビって、呼吸が上がっていることを久々に感じた。何とか南峰ピークまでたどり着くことができ、達成感と安堵感に浸ったのは束の間、すぐに下山。雪の状態が分からないということで、縦走はやめ、来た道に戻る事となった。恐怖と楽しさを一度に味わうことのできた山行であった。わかんを使わなかったのが心残り。

民宿に戻ったら、他のパーティはすでに戻っており、宴会を始めていた。そのまま、夜は温かい夕食と先輩方から頂いたおいしいお酒と、歌で盛り上がり、気づけば8時間くらい飲み続け、非常に楽しい時間をみんなで共有することができた。

次の日は先輩方と中居神社まで凍りついた参道を滑りながらお参りに行ったり、おしたにさんのご厚意で餅つきに参加させていただいたり山行以外でも非常に充実した時間を過ごすことができた。

〈リーダー所見〉低山とはいえ小白山を登頂する機会には中々ありません。おめでとうございます。野伏スキー隊は樅の木で撤退。土曜の毘沙門は駐車場まででした。来年も新しいメンバーが参加してくれるといいですね。



民宿おしたににて

確認
(リーダー)
神
14/03/09
戸
作成
(報告者)
中
14/03/08
尾